

上越ケーブルビジョン
令和4年度 第1回 FMじょうえつ 放送番組審議会
議事録

日時：2022年7月14日（木）14:00～15:00

場所：JCV2階 会議室

出席者 審議委員表記順：会長、副会長、委員（五十音順）

○岡本 富治 会長 ○永見 完治 副会長 ○今井 孝 委員
○上野 みさよ 委員 ○梶川 信之 委員 ○高橋 弘美 委員

上越ケーブルビジョン株式会社 出席者名

○メディアセンター 福嶋良章 担当取締役、沢田真紀 担当部長、鶴見幸恵課長代理

1、開会

2、挨拶 上越ケーブルビジョン メディアセンター 担当取締役 福嶋良章

3、放送番組審議会進行内容説明

4、議事

(1) 夕方生番組 「ふるふる」について

事務局 4月から始まった FMじょうえつ、FMみょうこう同時生放送番組。月曜から金曜の16時～19時の生放送。「ふるふる」には FULL BLOOM（満開）という意味がある。地域情報のプラットフォームを目指して情報満開に進めていきたい。

番組構成は天気・交通情報のほか16時台は主婦をターゲットにスーパーのお買い得情報や、若手農家の方と電話をつないで旬の食材の話を伺っている。地元の高校生やさまざまな団体等と電話をつなぎまちネタを紹介するコーナー、そのほか行政からのお知らせや音楽コーナー、リスナーからのメッセージを紹介しながら進めている。18時からの25間はJCVテレビ、WEBの上越妙高タウン情報との同時放送。県外から上越妙高タウン情報でご覧になった方からの反応もでてきている。

- ① 委員 タイトルの「ふるふる」の意味が分かりよかった。地域の情報、リスナーに支えられている番組だと感じた。情報は新鮮で、ラジオの特色を活かしていると感じた。番組全般の印象では情報番組というより音楽番組。音楽の持つ力が番組全体を支えていて、刻一刻と変わる情報が間をうめていると感じた。
- ② 委員 簡単な料理を紹介するコーナーが、新鮮で良い。アナウンサーのおしゃべりも聴きやすい。途中、アナウンサーの引き継ぎタイムは、斬新で面白いが反面、なれ合いなどで礼を欠くことのないように気を付け、身近な人への配慮も忘れないでほしい。AIアナウンサーは

愛嬌があって応援したい。

- ⑥委員 JCV の努力を感じる番組。妻が紹介された料理をメモして作っていた。リスナーも新しい目線で聞いているのでは。幅の広い、奥行きが広い番組という印象。目玉番組になるよう期待している。

(2) 今後の放送計画について

FM じょうえつ、FM みょうこうのお昼の番組の一本化向けへ準備中。

夕方の番組と雰囲気を変え、両波の良い部分をあわせ、新しいエッセンスも加えていきたい。

昼の番組も変わらず、地域の皆さん・リスナーとつながっていきたくと考えている。

放送時間は 11 時 30 分から 14 時まで。10 月スタートを予定している。

これにあわせ、雁木通りプラザの FM スタジオを本社に移設予定。出演者や収録対応などは、これまでと変わらず行えるよう配慮する。

(3) その他

<全体を通しての意見・要望>

- ① 委員 最近、県外のリスナーが増えてきたことにより、上越のコミュニティの色が薄くなってきているように感じる。

事務局 パーソナリティとしての感覚では県内リスナーの方が多く、統合前と変わらず地域に支えられている印象を受ける。

少数の県外が目立つのは、読上げる地名によるものはないか。上越が故郷の方もいる。

「上越妙高タウン情報」は 4 割が首都圏からのアクセス。新潟県人会にも参加しており、FM じょうえつ、FM みょうこうがインターネットやアプリで聞ける事をご案内している。

- ② 委員 県外のリスナーが増えた事は決してネガティブに捉えてはいない。上越を離れた人も懐かしく感じると思う。これからも情報発信してほしい。併せて、以前からのリスナーも大切に地元へ寄り添った放送をお願いしたい。

5、閉会